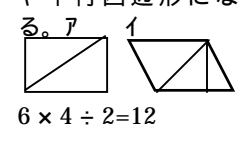
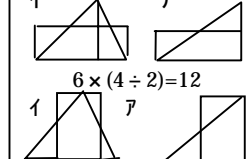
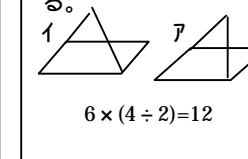


A案

5 本時(5時間目)の学習指導

- (1) 目標
- ・MD法によりいろいろな三角形の面積の求め方を知り,公式について考えることができる。
 - ・長方形・平行四辺形の半分と考えたり,変形したりする共通の考え方が両方の三角形にも応用できることが分かる。
- (2) 学習指導過程

学習活動	相	予想される児童の反応	教師の支援等 課題解決能力 見見通し 共 共感性
<p>1 学習課題をつかみ,自分のグループの説明の練習する。</p> <p>2 三角形の面積の求め方をMD法で話し合う。</p> <p>(1) 前半グループの説明。</p> <p>(2) 後半グループの説明。</p> <p>(3) 全体で話し合う。</p> <p>3 本時のまとめをする。</p> <p>(1) 振り返りカードに本時のまとめを書く。</p> <p>(2) 考え方でよかったところを話し合う。</p>	<p>つかむ</p> <p>つくる</p> <p>確かめる</p> <p>ふりかえる</p>	<p style="text-align: center;">予想される児童の反応</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>A 長方形・平行四辺形の半分</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>B 長方形に変形して</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>C 平行四辺形に変形して</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">三角形のいろいろな面積の求め方を知ろう。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>方法A</p> <p>ア・イとも同じ形を2枚合わせると長方形や平行四辺形になる。</p>  <p>$6 \times 4 \div 2 = 12$</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>方法B</p> <p>たてや横が半分の長方形に変形できる。</p>  <p>$(6 \div 2) \times (4 \div 2) = 12$</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>方法C</p> <p>高さが半分の平行四辺形に変形できる。</p>  <p>$6 \times (4 \div 2) = 12$</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ Aの方法は簡単でわかりやすいな。 ・ Bはうまく考えたけど,変形がむずかしい。 ・ Cの方法は考えつかなかったが,これも簡単だ。 ・ どの考え方で面積は同じになるし,どれも $6 \times 4 \div 2$ だ。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6 cm は三角形の底辺, 4 cm は三角形の高さと言うんだな。 ・ 三角形の面積は「底辺×高さ÷2」で求められる。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>どんな三角形の面積でも,底辺と高さが分かれば公式で求められるそうだ。</p> </div>	<p>課 考え方の方法を示すカードを提示し,MD法によって分かりやすい説明をすること,他の考え方の良さを見つけることを意識づけるとともに観点としての「せいかくかんたんいつでも」を確認しておく。</p> <p>見 説明と情報収集の順番や時間,聞いた後のグループ協議内容が分かり,自主的に活動できるようなカードを渡しておく。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>T1 導入から主に学習を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主にAとBのグループについて論理的な説明や共感的な受け取り方ができているか,公式につながる補助線があるかを見ていく。 ・Aグループの発見からよいところを見つける </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>T2 導入時はAグループの児童につき説明の仕方を確認したり資料の使い方を指導する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主にCグループのMDについて説明や変形が理解できているかを見ていく。 </div> </div> <p>評 2つの考え方で三角形を変形して面積を求めることができたか。</p> <p>共 考え方の中で取り入れたいことや説明の仕方の良いところや考え方の共通部分を見つけた児童やグループを賞賛し,他の良さを認める態度を養わせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの面積を求める式の数値に目を向けさせる。さらに公式へと導くために,面積求積の式の数字がもとの三角形のどこに当たるかをはっきりさせる。 <p>評 振り返りカードを使って倍積・等積変形による求積方法の理解度を見る。</p>